



地域に根ざし、世界に開く

コラボ通信 第11号

2007年10月26日

長い夏休みも終わり、もうすっかり秋ですね。
これからの季節は様々なイベントが開催されます。
気軽に足を運んでみてください。
きっと新しい出会いが待っていると思います。



CCCにもたくさんの情報があるのでぜひぜひ遊びにきてくださいね！

New CCC in 長久手 Campus

長久手キャンパスCCCが図書館北(旧サロンシーボー)に移転しました。新しくとても広いスペースにボランティア、インターンシップ共にたくさんの情報があります。みなさんの写真もたくさん掲示してありますよ☆

新しく変わった長久手CCCにぜひ遊びに来てくださいね☆

—目次—

- 1...GREEN フォーラム開催しました！
- 2...インターンシップ研修で学んだこと
- 3...ボランティア活動に参加しました！
- 4...エコな07年度大学祭情報

～CCC開設1周年記念「GREENフォーラム」開催～

07年9月24日(月・祝)星が丘キャンパスにて、CCC開設1周年記念「EXPOエコマネーGREENフォーラム」が開催されました。このフォーラムでは、学生や市民との連携・協働による、持続可能な社会の実現を目指し、ツールとしてのEXPOエコマネーの活用方法や学生・市民に対する環境配慮行動への有効なアプローチ手法を探りました。

当日は、CCCセンター科目「コミュニティ・サービスラーニング」を受講する学生が中心に進めている、「愛知淑徳大学がもし8000人のエコ集団だったら・・・」(略・しゅくエコ)についても報告しました。

<<<当日のプログラム>>>

基調講演/「新しいお金～電子マネー・ポイント・仮想通貨が社会を変える～」

EcoCa プロジェクトゼネラルマネージャー 高野雅晴氏

パネルディスカッション/

マリ・クリスティーヌ氏(あいち海上の森センター名誉センター長)

高野雅晴 氏(EcoCa プロジェクトゼネラルマネージャー)

門井徳考 氏(株式会社デンソー・デンソーエコポイント制度担当者)

萩原喜之 氏(NPO 法人エコデザイン市民社会フォーラム代表理事)

愛知淑徳大学学生代表(コミュニケーション学部3年 金井綾美さん 他)

コーディネーター 飯尾歩 氏(中日新聞論説委員)



文学部4年 福永聡史くん

当日はいろいろな人との出会いがあり、とても楽しく参加することができました。この授業を通じ、楽しい考え方・魅力的なエコ人間に出会い、環境問題に対する意識が変わりました。今ではレジ袋をやめてポイントを貯めています！実際に目に見える形で確認できると感動するんですね。「俺、地球にやさしいじゃん！」と。

コミュニケーション学部3年 加藤智美さん

コミュニティ・サービスラーニングの授業を受け始めたばかりの頃の私は、こんなに多くの人々の前で発表をすることになるなんて、全く予想していませんでした。私たちの提案が想像以上の大きなプロジェクトになり、準備にあたっては愛知県、名古屋市、長久手町の環境担当者をはじめ、市民団体の方々なども会議を行いました。

当日リハーサルを終えた後の私は、とにかく自分達が何をしてきたのか、授業や活動を通じて何を学んだのかを、限られた時間の中で多くの人に伝えたいと思うようになりました。本番では、パネラーや司会の方々からの質問に戸惑ってしまうこともありましたが、ちゃんと仲間が助けてくれ、無事に終わることができました。授業を通じたこのフォーラムは私自身にとっても、エコについて改めて考える良いきっかけになったと感じます。これからも、レジ袋削減や公共交通機関の利用など、自分のできることから地道に続けていきます！

今年の夏、このような素敵なプロジェクトに関われたことを、私は心から嬉しく思っています。

インターンシップ研修で学んだこと

夏休み中、「インターンシップ研修」(以下、ISと記します)に参加した学生に本音インタビューをしました。研修内容は異なりますが、それぞれ充実した研修生活を過ごしたことがよくわかりました。

こんな質問をしてみました!!!

- Q1 . あなたがISを行った企業(NPO・行政機関)を一言で表してください。
 Q2 . ISに参加する前と後では、働くことに対するイメージは変わりましたか?
 Q3 . ISでどんなことを学びましたか?
 Q4 . 今後ISに参加する学生に対して、アドバイスはありますか?

文化創造学部3年 塚田理恵子さん
(IS:名古屋銀行)

- A1 . 「銀行らしくない銀行」: 暗い堅いイメージを抱いていたが、とても明るかったから。
 A2 . 働くことは思っていたよりずっと大変そうだけどやりがいやおもしろさも大きいと思った。
 A3 . 会社は一人一人の人柄のよさで決まってくる。
働くことは人との関わりだと学んだ。
 A4 . 貴重な体験なので、何事にも積極的に取り組んで自分から吸収しようという姿勢が大切。

ビジネス学部3年 河合喬志さん
(IS:赤門ウイントン株式会社)

- A1 . 「環境のデパート」: ダクトクリーニングや食品工場の衛生管理などの環境管理に関する仕事をトータルで行っているから。
 A2 . 漠然とした厳しさや責任感に対するイメージが経験することで明瞭になった。
 A3 . 残りの学生生活の過ごし方が明確になり、広い視野や一歩先を見る力が必要と痛感。
 A4 . 必ず得るものがあるので、業種にとらわれず、チャレンジすることが大切。

コミュニケーション学部3年 加藤美知さん (IS:名古屋国際センター)

- A1 . 「個性的」
 A2 . 働くということに抵抗があったけれど、職場の雰囲気や和やかで、スタッフが生き生きとしていたので、仕事の楽しさを見つけることができた。
 A3 . 国際理解・交流についての実践的な知識を得ることができた。実際に行っている活動やその問題点、今後の課題など。
 A4 . スタッフの中には貴重な経験をしている方がいます。その人たちから、自分の将来についてアドバイスをいただきました。積極的に話しかけて、吸収してください。



事前研修では名刺交換を学びました

医療福祉学部3年 田尻恵梨華さん
(IS:西区社会福祉協議会)

- A1 . 「地域福祉における黒子」: よりよく暮らしていける地域を作るのは住民自身。社会福祉協議会は住民がそれを果たせるように陰ながら支える存在だと思ったから。
 A2 . 働くということは、お金をもらっている以上、大きな責任が伴うこと。特にこの仕事は人の人生に関わることなので、その責任も重大だと思った。
 A3 . 物事を一方からではなく、いろいろな側面から見るのが大切だということ。そして改めてこの仕事への興味が湧き、考えが深まった。
 A4 . 少しでも興味のある分野があれば積極的にISに参加してみてください!新しい発見ができ自分自身も成長できると思います。さらに就職の情報などもゲットできるチャンスですよ。

コミュニケーション学部3年 中島綾乃さん
(IS:日本情報通信企画株式会社)

- A1 . 「輪」: 社員同士が大変仲良く、会社が輪のように繋がっていると感じたから。また、IT企業ということもあり他の会社の人との繋がりも大切にしていたため。
 A2 . 自分自身が仕事の内容にこだわり、やりがいとプライドを持って挑む事が大切だと感じた。そうすれば仕事は苦しく大変なことだけではなく、楽しいものだとなりました。
 A3 . 大切なのは、コミュニケーションと積極性、お互いの信頼感だと学んだ。基盤となるのは、自分から進んで行動する実行力と協調性だと感じた。
 A4 . 積極的に自分から社員の方に声をかけることが大切。自分が出来ることを精一杯やることで、相手の信頼を得ることができ、さらにやりがいのある仕事を任せてもらえる。

事前研修では、挨拶方法も学びました

ISを経験していない学生も、経験した学生にとっても、上記のインタビューは興味深い内容だったように思います。

みなさんが学生生活を送る上で、少しでも励みになったら嬉しいです。



ボランティア活動に参加しました！

夏休み中にさまざまなボランティア活動に参加した学生の活躍を報告します!!!

●愛知県生涯学習推進センター 広報誌「まなびいあいち」●

コミュニケーション学部 3年生 前川桃子さん

初めてのボランティアだったのですが、周りのサポートのおかげでとても楽しく活動できました。その中で様々な世代の方との出会いがありました。CCC、生涯学習推進センター、県民生活部県民総務課の方々には本当に感謝しています。このような出会いはボランティアの一番の魅力だと感じました。

これからもボランティアを続け、多くの人々と出会い自分を成長させていきたいです。最後にボランティアに誘ってくれた友達に“ありがとう”と伝えたいです。



●富士山国際エコキャンプ●



文化創造学部 2年生 下村枝里さん

このキャンプではゴミ拾い・森林整備・農作業・拠点地作りの各ワークに分かれて体験をしました。私は農作業で酪農のワークを体験させてもらいましたが、その中で感じたのは、自然の循環、人のつながりの中でのエコでした。

多くの素晴らしい人達との出会いと人の温かさを感じられるからこそ、周りの人たち、自分が住んでいる地球を大切にしていきたいと思うことができるのではないかとこのキャンプで気付かされました。本当に楽しいキャンプでした。

●ふれあい交流会 障害児童との交流●

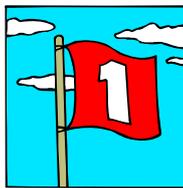
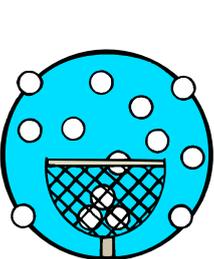
文化創造学部 3年生 佐藤美奈さん

私は子どもと接することが苦手なので、最初はとても戸惑ってしまってあまり話しかけることができませんでした。でも勇気を出して自分なりに頑張って声をかけてみました。すると、ペアの子もだんだん親しく接してくれるようになって、とても楽しく遊ぶことができました。ペアの子のお母さんも親切な方で、休憩の時にいろいろとお話しました。

この活動を通して、私は子どもに対する見方が変わりました。本当にかわいいなと思えるようになりました。このボランティアは今年の夏休みのとても大切な思い出になりました。



●デイサービスセンター香流橋での運動会●



医療福祉学部 2年生 丹羽さん

室内運動会だったのですが、スタッフは走り回ったり、利用者さんもお菓子競争（車椅子を利用）や玉入れ等に参加し、一緒に応援したりしてとても盛り上がりました！

スタッフさんも笑顔が絶えずやさしい方ばかりでとても楽しかったです！

●全国ボランティア フェスティバル●

文学部 3年生 浅井友美さん

私は9月22・23日に開催された全国ボランティアフェスティバルに1日だけ参加しました。私が任されたことは、ホールに来場された方を座席へ誘導する係です。最初は簡単な内容だと高を括っていた私ですが、実際にやってみると誘導に従ってくださる方は少なく、嫌になったことも何度もありました。しかし来場者の方の中には「ありがとう」と話しかけてくださる方もいらっしゃって「ああ、ボランティアってこういった人とのふれあいが魅力的なんだな」と肌で感じました。

私はこの経験から、皆さんに何か一つでもやってみることをお勧めします。最初はあまり興味がなくても、やってみると意外にツボに入るものかもしれませんよ（笑）！？



